

審判上の確認

審判委員長

- 1 本大会は、2017年度公益財団法人日本バレーボール協会9人制競技規則によって行う。
- 2 競技参加者は、公式競技規則に精通し、これを守らなければならない。
- 3 サービス順の確認時に、公式記録用紙に記載されたサービス順に入っていない選手がいたときは、チームは記載されている選手に戻さなければならない。ただし、その選手を出場させたいときは、試合（セット）開始前であっても正規の選手交代を要求し、その選手をコートに入れることもできる。
- 4 選手交代を要求するときは、監督またはゲーム・キャプテンは交代させたいコート内の選手の番号を告げなければならない。
- 5 ネットプレーを予測して、ネットに接近し、身体を前に出したり、手および腕を前に出して、相手のネットプレーを妨害した場合は、反則となる。
- 6 選手交代は1セットにつき6回まで要求することができる。ただし、同じ中断中に連続して要求することはできない。先発選手は、1セットにつき1回だけ交代してコートを離れることができる。また1セットにつき1回だけ自らの交代選手と交代してコートに戻ることができる。
- 7 インプレー中、選手がネットおよびアンテナに触れたときは、タッチネットの反則とする。ただし、アンテナの外側のネット、およびボールをプレーする一連の動作中でないときに触れても相手チームの選手のプレーを妨害しない限り反則としない。